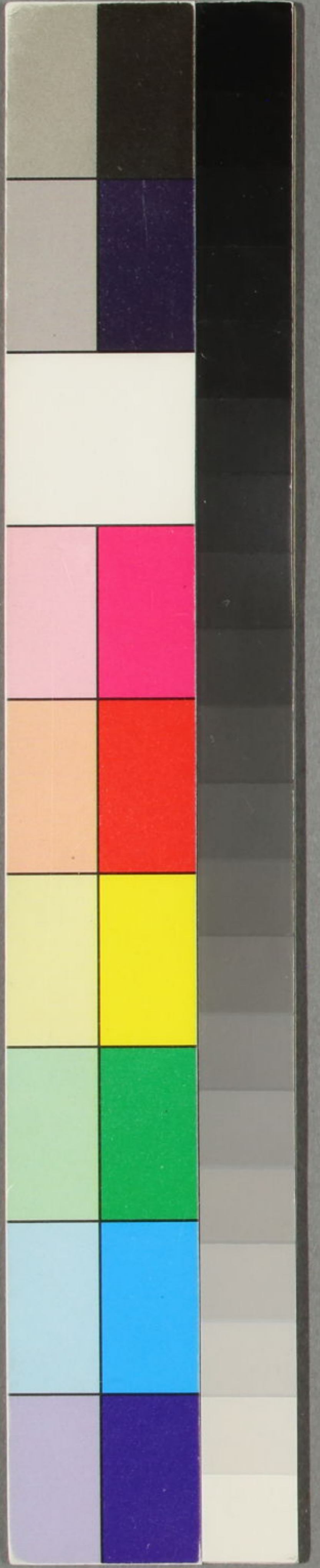


バルフォア氏多々御書
控申

押解仕込
帰朝の際は何か以土産を持参仕
没存念も起し申す限り有る財
囊子と磁器等當惑仕平凡なるもの
もこれに用ひも申す後失禮もも
當り言貴なる所は備小由様
きよき思ひ悩ませ申すお救日前
當地の有るなるキウガルテンを押
鞆仕込不圓緑色の菊花を忍
見仕甚だ珍しく感し救解を
待申す別封仕込に申す入り申す

水
命
子
の
水
命



おはなもいふなり 此中よりと有り
此志 録もいふなり 故に研究
資料あり 其れんか といふ上
之を 備へて 候ふこと 是れ 数々の 苦心
有らば 一し 海子ノ 水生 物ノ 形
無種 類ノ 故 或は 之れ 亦 遠東
へ 採り たり たり あり あり 水生
共は 採り たり たり あり あり 水生
物ノ 故に 送中 上ノ 以 美 納 あり
り あり あり あり あり あり あり

十日の

大隈先生様

度も持たず仕
限り有る財
平凡なるもの
ぬ失禮もも
は糖菓子由縁
はよおむる前
ルデンを抄
菊花を忍存
し收辯を
手入りの迄



花の丸
信あり